よみましょ・みましょ

市の公害白書から
―公害係を設置―

自然を守り 公害をなくそう

急速に進む社会とともに、産業の開発もまた目ざましいものがあります。ところでこのような社会情勢が引き起こす交通災害や住民の生活をおびやかす騒音、汚染、汚濁、粉じんなどの公害問題は日ごとに増加の傾向にあります。

このような社会情勢は、農業立市を基調とする南国市においても深刻なかげを投げかけています。最近、とくに公害について市民からの陳情があいついで出されています。しかも、これに対する施策について、市議会でもたびたび取り上げられてきましたが。ようやく昨年十二月の市議会で、公害調査特別委員会（松岡幸寿委員長）を設置し、その対策にあたることとなりました。一方、市はことしの四月から総務課に公害係を置き、公害と、交通災害の処理にあたる専任職員をそれぞれ配置し、市民の陳情や相談に応じ、これが解決にあたらせることとなり、現在それぞれ所期の目的に向って活躍をしています。

市内でこれまで大きな公害問題として、稲生石灰鉱工業地帯における粉じんなどの公害がもっとも大きなものとして取り上げられてきました。

稲生地区の公害は、いまことさら起こったものでなく、石灰工場の操業以来つづいているものです。ところで住民の大半は石灰工業の従業員として●●をたててきているものが多く●●戦後、公害問題が全国的に論議されるまで、公害というものを熟知することなく、今日まで粉じんや騒音のなかで生活を営んできていました。

ところで、これを公害として認識し、これを除去すべく地元民が起ちあがったのは、昭和三十三年のことで、地元民の人たちが、稲生地区公害対策委員会を組織し、粉じん、騒音、振動などの公害をなくするよう、市や事業主に対して陳情、苦言がつづけられてきましたが、なんら改善の努力がなされないため、昭和三十七年には民事訴訟にまで発展するところとなりました。

こうしたことから、資本の大きな入交産業は昨年から工場の改善をすすめ、合理化することによって、粉じん、騒音の少ない施設への脱皮（十月完成）がつづけられていますものの、資本の少ない多くの地元業者は、資金面などの諸問題から、早急な改善は望めそうな情勢にはないようです。

市は、この地区の公害に対処するため粉じんの収集器を数か所に設け、降下してくる石灰粉じんの測定の結果、高知市桟橋通りの工場地帯よりもはるかに多い降じん量であることが判明し、調査にあたった係員も驚くほどのものでした。

このような科学的調査に基づいて、各事業主との話し合いがすすめられ、業者間においても施設改善への意欲がかなり急速に高まって、意見調整の会合がもたれるなど、これまでの企業優先の時代から、まず住民生活安全に重点が置きかえられて、工場施設の改善案がようやくまとまり、ここ二～三年の間に公害のないものに生れ変わることになっています。

そのため、市としても融資などを強力にすすめ、これが改善に協力することになっています。このように過去一世紀にわたってきました、稲生地区の石灰公害問題に明るい光りがみえてきました。

公害のことなら公害係へ

公害のいろいろ

ところで社会情勢の変化によって、公害問題はいろいろな面に現われてきました。

□空気の汚染＝稲生地区にみられる粉じんや煤煙、車や工場などの排気ガスによるもの。

□水質汚濁＝工場、給油所、病院、住宅などから放出される汚物、廃油などによる用水の汚濁。

□悪臭＝乳牛、肉牛、養鶏、養豚の設備の不備清掃の不徹底、住宅地における飼養などに起因する、はえの発生、用水路の汚染、悪臭、騒音などの公害。

□騒音、振動＝工場や交通機関から発生する規制以上の騒音また工場などによる振動。

□通路妨害＝農道などの拡巾、付け替え工事に当って、道路用地の分筆登記がなされてなく、境界が不明確なために所有権をめぐって紛争、通路妨害の行為に出るなど、新たな●●が起こされたり、道路上への駐車、物品の放置などによる妨害があります。

□交通公害＝交通事故に●●死傷者は、車輌の増加とともに年々増加しており、いまや戦時の戦死傷者の数をしのいでいるといわれています。

□農薬公害

□食品公害

みなさんの住むまわりには、いろいろな公害が横たわっているようです。お気付きの点がありましたら、市の公害係にご連絡ください。

毎日曜日に一斉防除

一昨年から、海日曜日に一斉消毒を実施し、かなりの効果をあげている地区があります。

この地区は、ハウス園芸地帯をひかえ、それに市のちり捨て場のある浜改田地区のことで、これまではえの異常発生をみ、新聞紙上にも報道されたことでしたが、一昨年に地区公民館の話し合いによって、各部落から衛生委員を選び浜改田衛生委員会をつくり、この委員会の監視のもとにはえの発生をみる三月から十月まで一斉防除活動が実施されています。

海週日曜日の当日は、衛生委員の指導、指示にしたがって、各部落の人たちの交替による当番制によって、●●かじめ共同購入により準備された薬剤の配付を受け、担当地区の全世帯や発生の場所を巡回し、薬剤散布作業にあたっているもので、かなりの成果をあげ地区民の人々によろこばれています。

しかし、万全の対策とはいえず市のじん芥処理場の早期実現をのぞんでいます。

写真は衣笠老人クラブ員

部落の美化運動
＝衣笠老人クラブ＝

衣笠老人クラブは、市制十年を記念して、部落の美化運動をはじめました。

蚊やはえの一斉防除、廃品の処理を手はじめに、共同購入によって、ポリエチレン製のチリ容器の備え付けなどを行ない、いまでは用にチリを捨てるものも少なくなりました。同クラブでは、こんご住みよい町づくり運動を推進することにしています。

私の提言

山を緑に

佐竹安意

山を緑に返し、水資源を活用することによって、私たちの生活は豊かになり、心の安らぎを覚えます。

私の住む黒滝は、穴内川の上流、中の川、桑の川の合流点にあり十年ほど前、電源開発のため三分の二の人たちは、先祖伝来の土地から放れてゆきました。

山を愛し、山に生きる決意を新たに残った人たちは、スギやヒノキの育ちにくい山の頂上近くに松を植えるなど、適地、適木、造林に研究に力を注ぎ、数十年先の未来に希望をかけています。

そしてこの地を訪れる人たちのために、ダムの補償費をさき、鯉の稚魚約七万匹を放流、県道の沿線に、梅、桜、柳など数百本を植樹しました。

繁藤から上流へ車で四十分、林道奈路～桑の川線の開通により、訪れるマイカー族は多くなりました。ところで心ない人たちによって植林はあらされ、とくに春のいたどり、わらび狩りに新植のか弱い苗木の痛みはひどく、頂上近くの松はかっこうの庭木と考えてか何度植えても抜き取られ、沿道に植えた梅も数本を数えるのみとなり、クリスマスを迎えるとモミの木がその被害を受けています。

また、庭園ブームの余波で、谷川の石は運び去られ、川の様相はすっかり崩され、集中豪雨時の影響が心配されるほどです。このような現状の対策に地元民はなすすべもなく悩んでいます。

山を愛し、自然をいつくしむ心をみんなが養い、山の人たちの未来の夢を豊かにさせてほしいものです。

（市婦人連合会長）

よみましょ・みましょ

SUZUE スズエ耕運機
株式会社 鈴江農機製作所
南国市後免町14402 TEL④―2121（代）

祝 市制10周年

昭和44年度工業技術院長賞に輝く ＜協和農機＞
協和農機株式会社
本社／高知県南国市里改田203 TEL南国代表④4111
支店／大阪 営業所／東京・北九州